

2005年2月9日 午前 10:15

第2子

静岡 N・M

3510g 見た目よりも大きめの、元気な男の子が産まれてきました。
予定日を3日過ぎて、「いつ出てくるんだらう?」「早く出てきて〜」と
予定日が近くなってきた時から 毎日 毎日 とても楽しみでした。
生理痛の様なお腹の重い感じやおしるしを期待(?)して 早く来ないかと
と鬼いつ、一番“出たい”時に出てくるんだらうなあと考えて一週間
くらいして この日は来ました。

久しぶりの いい天気。まぶしい青空。

朝 5時、お腹がズンと痛くて目が覚めたので トイレへ行っ
みたけれど、おしるしはなし。でも 痛みを感じから「あーもう今日
出てくるかなあ」という感じがしたので 出産前に やれる事をやっておこう
と 朝ごはんの準備をしようとしても 5分も立ってられないので
しばらくストーブの前で うずかまっていた。

1人目の出産の時は 5分間隔のお腹の痛みが来てから 丸1日
くらいしてやっと出てきたので 時間の長さで陣痛の辛さ、病院の中で
どう過ごしているのかわからないまま とても耐えがたい時間を過ごした後の
出産で、出てきた時は「あーやっと出た」という脱力感でいい感じの
何か違うなあと思う気持ちも残っていたので、今回の出産は
もっと心にゆとりを持っていきなあかと前から思っていた事を
もう一度 自分自身に確認しつつ、どんどん強まる痛みにも
めげずにもたりました。

それでも お腹から出ようと頑張っている小さな子どもの事を思うと
痛いのは自分だけじゃない、先王が「陣痛は“カ”と思えばいい」と
言ってくれた言葉を思い出して 今 赤ちゃんと自分が一糸者になって
頑張ってるんだと (はきり) 思えて 気持ちは楽になりました。

午前 9時、実家から 仕事の手みの都合をつけて 来てくれていた
お母さんと、私達家族 3人 + 1匹は車で 中嶋助産院へ 向いました。
痛みの間隔はだいぶ短く、波がくる度 お母さんに腰をさすっ
てもらいながら、こへ着いたら 車の向こうから「頑張れ」と言いながら

走り寄って来て腰をさすりながらエレベーターに乗ってくれる人がいました。
それがチヨさんでした。

先生も帰ってくださっていて、みんなで分娩室に入りました。
痛みは強く間隔も短い、だけど先生がとても優しくして
雰囲気を作ってくださいっていて、1才8ヶ月のころが畳の上でチヨロチヨ
遊んでいた、あまりにもいい天気であーまだまだかなあなんて思える
くらいゆっくりした時間が流れていた気がしました。

陣痛の合い間に、隣で腰をさすってくれる先生や寛生くん、お母さんに
「ありがとう」と言い、呼びかけてくるころに返事を返す。先生が
心音を聞く為には持ってきた超音波をころがら音してもらい、先生の
真似をして私のお腹に当てる姿を皆で「先生」と呼んで笑う...
「あ〜痛みの波が来た」と思ったならお願いして腰をさすってもらう...
そうやっている間に先生が「次いきまらなくていいからいきんでいいよ」と
声をかけてくださり、そう思った時にいきむ...「あ、今頭が出てきた」
自分ではっきりとわかりました。「力抜いて」先生やチヨさんが声をかけて
くれるのに合わせて息を吐き力を抜く、そのうちツルって「出てきた」
のがはっきりわかりました。

その後に出てきた大和(せと)がホカーとよき、それをころがら
びっくりした産後でホカーンと叫ぶ、皆で笑いとても静かな気持ちで
いられる不思議な時間でした。

前回の出産をした後の出産の痛さ・大変さを知ると、痛みは同じ
不承にあつたのに、そういう(大変)気持ちもちゃんと残らず、一歩前に
居てくれた皆に「ありがとうございました」と思える本当に喜ぶ時間、
出産が出来た事を本当に本当に感謝します。

こういう出産が出来ること、こんなにいい先生、看護師さんのコンビがある
事をこれから出産する人達には是非知ってもらいたいし、自分の
友達が出産する時には教えてあげたいと思います。

今回又人が産まれてくるというそのスゴい瞬間を無事迎える事が

出来た事、産後音部屋で家の不景に、ゴロゴロ（つらい）寝ている
 家族を見て幸せな光景にならなくて思いう事、先生・千ヨさんのつくること
 ありたい助産院で、こういう時間を過ごせた事を思いたいながら
 この子達と一緒に成長していきたい、人に優しくなれる心のある人にな
 りたいなあと思っています。

先生、先生の周りの人達や家族の方、娘さんのお陰でこういう時間を
 過ごせた事、本当にありがとうございます。
 以前「先生が」といって「子は優しい子になる」と娘さんが言っていた
 という言葉を聞きまして、本当にそれがなあと思いました。
 お母さんの気持ちから「親戚」から「子ども」にも「云々」その後の
 子育てにも影響する人だぞうなあと思っています。
 だからもっと沢山の人の幸せを分けてあげてほしいなあと思っています。
 私も又「機会が」あれば「お世話」になりたいと思っております。
 ようしくお願いいたします。

いつか「先生が」娘さんと一緒に中嶋助産院を「見る」日も楽しみにしています。

2005.2.11